

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 5月 22日

事業所名 オールケア守口

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	必要に応じてスペースの確保を行い対応している	前面土禁にしたことで活動するスペースの確保ができ、また過ごし方や活動によって安全確保を行っている。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	前もって社内で応援の協力体制を作っている	マンパワーの不足を改善していく為に部署内で定期的に研修を実施し職員の質を向上するとともによりよい環境の中で支援の提供を行う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	段差がなく車いすやバギーの移動にもスムーズにできる作りに設置している	車いすやバギーだけでなく散歩の子供たちや床で過ごす子供たちが行きやすい場所へ動いていけるように配慮し対応している
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	職員間で目的が着実に行えるように計画を立てている。また振り返りを行い課題共有し改善策を検討している	継続的な改善の取り組みが行えるように目的を明確に検討し改善に努めていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	86%	14%	全職員が入って話し合いの場を設けている。	意見を踏まえて丁寧に検討し改善を図る
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	83%	17%	社内での内部監査を実施し評価につなげている	第三者評価は行ってないが部署間での評価を実施し業務改善ができるよう取り組んでいく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	法人内、グループ内での研修や勉強会の機会を年間で設けている	勉強会で学んできた内容の研修を部署で行い現場で実施できるよう整備する
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	担当者、専門職と連携を図りニーズや課題の分析を行っている	モニタリングシートや課題抽出し分かりやすいようにシートを作成しケース検討を行う
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	83%	17%	お子様の支援を実施できる研修を行い個別の支援計画立案の基礎として活用できる取り組みを行っている	お子様の生活状況や適応行動に関しての聞き取りや行動観察を行い具体的な支援を明確化する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	71%	29%	今期より保育士を中心とした活動の計画立案を立てている	担当者、専門職が集まり活動計画に対しての検討をしている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	71%	29%	固定化にならないように活動内容を見直し月ごとで季節に応じた行事や文化行事を取り入れている	担当者、専門職が集まり活動計画に対しての検討をしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	86%	14%	多職種連携の強化を図り担当者会議、ケース会議を行っている	より具体的な内容を決めて実施していく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	86%	14%	毎日、朝礼で事前に共有している	職員一人一人の動きを明確にし、スムーズな支援に繋げていく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	毎日終礼で共有、振り返りを行っている	終礼時、支援の振り返りや課題の共有し問題解決を行う
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々経過記録を明確に記入して月間記録の作成	適宜、議事録や利用経過記録の書式を見直しと定期的に記録内容の確認を行う
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	3か月で中間モニタリングを取り入れて放課後等デイサービス目標の見直しを図っている	ケース会議を適切に行う	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	充実した活動内容を盛り込むようにしている。	個別に合わせた日常生活の活動、自立活動の実施を更に強化していく	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	主に児童発達支援管理責任者が参加している	適宜事業所からも発信していく
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	学校のホームページにて最新の情報を収集している	どのような場面においても迅速に対応できるように定期的に確認を行う
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	家族様や関係機関と連携を図り主治医指示書の共有を行っている	家族様や関係機関との連携を密に取り必要に応じた主治医との連携に努める
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	67%	33%	保護者からの情報で周知している	関係機関との連携を更に強化していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	必要に応じて移行事業所との会議も行っていきます。	引継ぎを行う資料を準備しておき移行がスムーズに行えるように左記の取り組みを更に強化していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	83%	17%		お子様の必要な情報を関係機関と密に連携を図り、また職員が積極的に研修の参加を行っていき必要な情報が共有できるようにする
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	83%	17%	年間の行事の中に施設開放で地域のお子様たちと交流を図り、また中学校の運動会の見学や小学校の児童クラブの企画にも積極的に取り組んでいる	交流を図る取り組みを相互で検討していく為に情報収集と連携を図る
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	83%	17%	積極的に参加し関係機関との連携や情報交換に努めている	関係機関との連携を更に深めていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	日々の送迎、児発管によるモニタリング等で広く意見をお聞きし、全体で検討している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	面談や日々の送迎時などに相談を受けて対応している	ニーズの聞き取りを強化していく また、よりの確かな支援に繋げていくためにペアレントトレーニングについての学びを深める
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	86%	0%	変更があればその都度書面にて説明を行っている	説明内容の理解を深めて変更点を丁寧に説明するよう努める
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	送迎時や電話で相談を受け報告を上げ対応している ・必要に応じて自宅訪問にて相談対応等実施している	医療、福祉の知識を高め対応していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	83%	17%	年間の行事の中に保護者様に参加できる内容を取り入れて参加の働きかけを行っている	求められる交流の場を設ける事ができるように保護者と共に検討していきながら働きかける
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・苦情に対する問題、原因を追究して対策を検討しその後の家族様の対応を丁寧を行う	今後も迅速に対応を行っていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月機関紙を作成し配布している ・又年に1度事業所情報が載っている冊子を配布している	今後も新聞や機関紙・ホームページやブログ・インスタグラムの掲載の取り組みを工夫し発信の強化に努めていく
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	取り扱いには十分注意を払い配慮している	今後も継続して行っていく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	日々の申し送りを参考に子供の対応に関して共有や周知を行いまた家族様に情報伝達している	日々ご家族様と会話を行うことで必要に応じた情報の共有が図れるようにコミュニケーションツールの幅を広げていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	年間の行事の中に施設開放で地域のお子様や地域の方と交流を図る機会を設けている	今後も地域の方を巻き込んだイベントが実施できるよう自治会の定例会に継続的に参加し地域に根差した事業運営を行う。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	それぞれのマニュアルを見直し更新と共に作成後は周知をけている	家族様への説明・配布を行い周知するとともに活用していくように努める
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	安全委員会が主となり年に2回は必ず訓練の実施を設けている	毎月の避難訓練実施では多様な有事を想定し訓練に取り組む
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	年に1度職員全体に向けた権利擁護研修を実施している	虐待委員会を中心に定期的に見直し適切な対応を行う
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	組織的に見直しを行っている	お子様の成長に応じ、適宜家族様と共有、説明を行い納得した上で同意を頂いていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	契約、面談時にアレルギー等の有無、対応の確認を行っている	主治医の指示書内の項目にアレルギー対応の詳しい詳細を追加しておく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	86%	14%	・毎月の安全管理委員会は実施 ・事故、ヒヤリを共有	事故分析の共有・検討を行い、再発防止に向けた対策、取り組みの強化を図る

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 3年 5月 22日

事業所名 オールケア守口

保護者等数（児童数） 15 回収数 13 割合 86%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備 備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	62%	38%	0%	0%		ホール内全面土足禁止とし活動スペースの確保に努めている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	54%	31%	0%	8%		職員の専門性の底上げしていけるように研鑽する
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	77%	15%	0%	8%		独歩の児童や、行きやすい場所へ動いていけるように床で過ごすお子様にも配慮し対応している
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	77%	15%	0%	0%		お子様の生活状況把握することで支援に関する課題分析を行いより丁寧なモニタリングを行うようにする
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	77%	23%	0%	0%		活動プログラムの検討を行うことで専門性を高めた活動内容の取り組みを実施している
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	23%	8%	15%	38%	コロナですからね	年間を通して計画は立案されている。今期においてはコロナ禍により実施はできていないが継続して活動参加の働きかけを行う
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		児発管がより丁寧な説明を行い、職員でもお答えできるようにする
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		今後もよりこまめな支援の提案、対話を心がける
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	92%	8%	0%	0%		今後もよりこまめな支援の提案、対話を心がける
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	46%	15%	15%	15%		必要とされる保護者交流会の在り方を模索していけるよう働きかける
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	85%	8%	0%	8%		報道相による迅速な対応を心がけ、またヒヤリハットを活用し苦情に至らない努力をする
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	92%	0%	0%	8%		今後も特性に応じて配慮に努めていく
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	0%		今後も利用者、ご家族様にわかりやすく、また必要とされる情報を機関紙やブログ、インスタグラムでの掲載していく
14 個人情報に十分注意しているか	92%	0%	0%	8%		さらにコンプライアンスに努め定期的に発信していく	
常時 等の 対	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	85%	15%	0%	0%		職員間でのマニュアル共有、必要に応じて保護者様にも丁寧に対応していく
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	54%	15%	0%	31%		お手紙などで実施予定をお伝えし訓練の様子等を定期的にお知らせしていく
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	85%	15%	0%	0%		お子様にとって第3の居場所と感ぜられるように充実した支援を行っていく
	18 事業所の支援に満足しているか	85%	8%	8%	0%	土曜日の協力日を止めてほしい 散髪できるようにしてほしい	ご家族様のご意見に対してサービスの有用性を具体的に検討しお答えしていく

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせ実施されることが想定されている。